

第3回流域観察会を行いました

10月16日(土)に第3回流域観察会を行いました。

今年は、河戸橋架け替え工事(国交省)、加茂川改修事業(鳥取県)の見学を行った後、加茂川源流域の自然観察・源流の碑探訪をしました。

当日は天候に恵まれ、参加者26名の方々に、河川・砂防事業に対する理解を深めて頂きました。

加茂川源流の碑 ▶
H8設置から14年、
まだまだ元気に建っ
ています



◀ 加茂川改修
事業の説明
加茂川の改修
も今年度で全
て終わるそう
です。



▲ 模型を使って砂防事業の説明
砂防堰堤の働きや効果についての勉強です。

◀ 河戸橋工事説明
今年の工事には、
まだ取りかかってい
ませんでした。
また、森本会長から、
春楡(はるにれ)の
木についての紹介
もいただきました。



工事中の時の様子

橋の傍らに佇む、県名木百選の春楡の木



▲ 森本会長の解説による自然観察
鉛山の集落から、源流に向かって林道を上って
きました。その途中にある植物について、森本会
長の解説を交えて勉強しています。

▲ 滝の前で記念撮影
流域観察会は、「全国豊かな海づくり大会」
(H23)の協賛事業に登録しました。希望された方
には「白うさぎ大使」として大会の広報をお願い
しています。